

広 報

さ か い

CONTENTS

- 読書について、考えませんか 2
ご存知ですか？みくに新聞 6

【今月の表紙】
「みどり干しぜんまい」ゼンマイの収穫(詳細は19ページ)

読書について、考えませんか

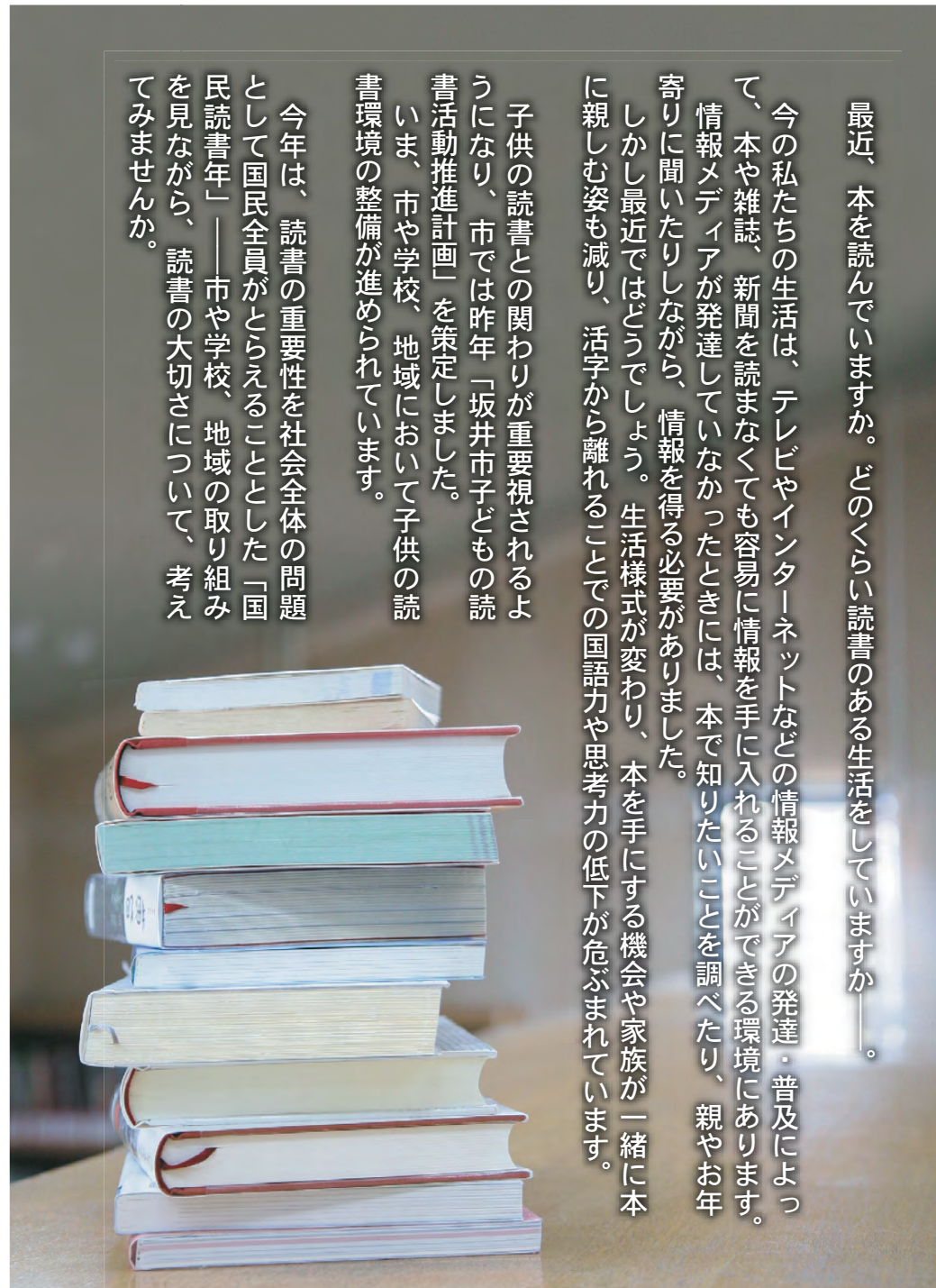
最近、本を読んでいますか。どのくらい読書のある生活をしていますか。

今の私たちの生活は、テレビやインターネットなどの情報メディアの発達・普及によって、本や雑誌、新聞を読まなくても容易に情報を手に入れることができる環境にあります。情報メディアが発達していなかったときには、本で知りたいことを調べたり、親やお年寄りに聞いたりしながら、情報を得る必要がありました。

しかし最近ではどうでしょう。生活様式が変わり、本を手にする機会や家族と一緒に本に親しむ姿も減り、活字から離れることでの国語力や思考力の低下が危ぶまれています。

子供の読書との関わりが重要視されるようになり、市では昨年「坂井市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。いま、市や学校、地域において子供の読書環境の整備が進められています。

今年は、読書の重要性を社会全体の問題として国民全員がとらえることとした「国民読書年」——市や学校、地域の取り組みを見ながら、読書の大切さについて、考えてみませんか。



読書は心に
効くもの

本は、単なる知識や情報だけでなく、さまざまな言葉や表現、幅広い考え方を私たちに教えてくれます。

読書は「心の糧」ともいいます。本を読むことで、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにします。また、自分以外の人を理解し、思いやる心をはぐくみ、豊かな人間性を養うことにもつながります。

よく「一冊の本との出会いが人生を変える」といいますが、決して大げさなものではありません。現実の生活や社会をより良くする手立てを見つける上で役に立ち、人生を深く生きることが出来ます。それが、読書の不思議な力です。



「国民読書年」

2008年（平成20年）6月の国会決議「国民読書年に関する決議」で、2010年を「国民読書年」とすることが決定され、政官民が協力し、国をあげてあらゆる努力を重ねていくことが宣言されました。

市の取り組み

図書館など市の施設や、乳幼児期の保護者を対象とした事業を活用して行う取り組みのほか、子供の読書活動推進に関わる人や施設との連携を図り、読書活動を支援しています。

市では今年から、乳児期からの本との触れ合いを推進するための啓発リーフレットを作成し、配布していきます。生まれたばかりの子でも楽しめる絵本を案内し、なるべく早い段階から本に親しんでもらおうという取り組みです。



▲リーフレットと推薦絵本

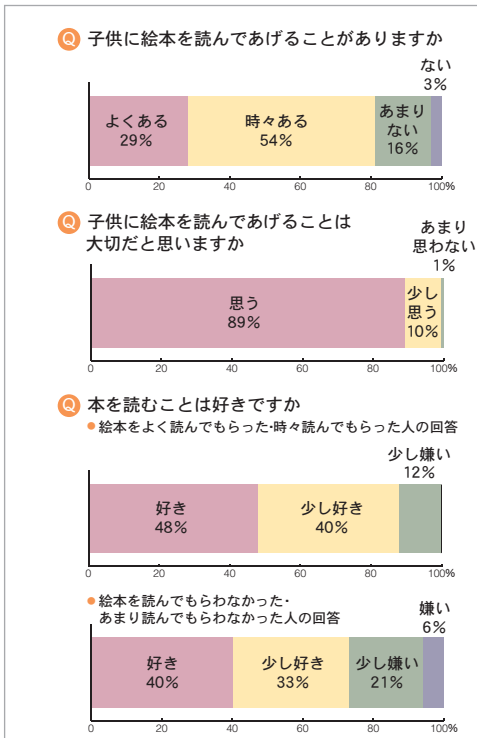


▲新生児家庭訪問などを利用して、乳児が楽しめる絵本を保護者に紹介

また、学校と図書館との連絡会を設置し、効果的な配本や読書に親しめる取り組みなどについての意見交換を行っています。

図書館では、多くの人に何度でも訪れてもらえるように、さまざまな催しを行っています。

定期的開催している子供や親子向けのおはなし会のほか、工作などの体験講座、大人向けには各種講演会を開催するなど、幅広い年齢層に応じた取り組みを実施。子供から大人まで、多くの皆さんが図書館に親しんでいます。



市は、4歳児の保護者に対し上記のアンケートを行いました。

アンケートでは、多くの保護者が読書の重要性について認識していて、子供に絵本を読んであげたことがあると答えています。そして、子供のころに絵本をよく読んでもらった人はそうでなかった人と比べて読書が好きだという結果が出ています。

つまり、読書への関心を高めるためには、幼い頃から本に親しむことが大切だといえます。



▲笑顔での接客やお薦め図書の紹介など、催し以外のサービスも充実



居心地のいい図書館でありたい

浦谷 昌野 司書

蔵書の充実はもちろんのこと、訪れた人に図書館を身近で気軽なものに感じてもらえるよう、ていねいな対応を心掛けています。

それに、図書館は「本を借りる」だけの施設ではありません。「読む」「調べものをする」「くつろぐ」ことができる空間です。

図書館を「ちょっとの楽しみが見つけれられる」場所として、楽しいひととき、充実した時間を過ごせる雰囲気づくりを目指しています。



ご存知
ですか？

みくに新聞

―それは当時を知る貴重な資料―



▲みくに新聞(上から明治38年1月11日、同3月8日、昭和3年7月17日)

約38年続いた
”幻の新聞”

『みくに新聞』は1904年(明治37年)に『三国実業週報』として創刊され、その後『みくに』『みくに新聞』と改題し、1942年(昭和17年)まで続いたといわれる、三国町の地元紙です。

発行頻度は年によって異なり、最初は週刊で発行、後に旬刊、日刊となり、発行部数も年々増加していきます。

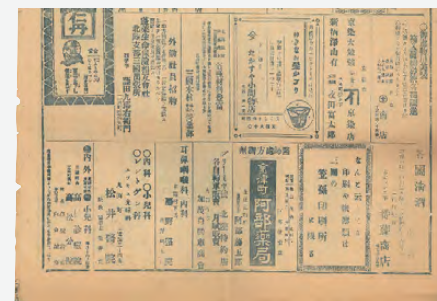
紙面のサイズは大正初期までタブロイド版、以降は現代の新聞と同サイズのものになったようです。

記事や広告に
当時の三国が生き生きと

『みくに新聞』では、三国に初めて鉄道が開通した記事や、強盗・交通事故など、事件の大小を問わず当時の世相を刻々と伝えていきます。

ほかにも、港に陸揚げされた米や海産物、木材の相場や、三国港と北海道の小樽港を結ぶ定期船・三国港周辺の料理屋の広告などにもぎやかに掲載。海運で栄えた当時の湊町の様子が紙面から読み取れます。

三国町のみならず、当時の金津町や丸岡町の事件や広告も掲載されていることから、三国町を中心に幅広い範囲で配布されていたことがうかがえます。



▲当時の広告欄。今も営業している店の名前も

みくに新聞の変遷

- 明治37年(1904年) 6月20日に週刊『三国実業週報』として創刊
- 毎週月曜日発行
- 当初の発行部数は年間3400部※1
- 本社所在地は三国町大門11番地(現在の三国町山王三丁目辺り)
- 明治38年(1905年) 5月『みくに』に改題
- 当初は毎週水曜日発行、後に旬刊に(3の付く日に発行)
- 明治40年(1907年)ころ このころから日刊に
- 明治42年(1909年) 一時期、室生犀星が勤務・執筆※2
- 大正元年(1912年) 会社を三国町平木86に移転(現在の三国町北本町三丁目辺り)
- 大正5年(1916年) 会社を個人経営から株式会社化
- 大正6～9年(1917～1920年) このころ、会社を三国町末広4に移転(現在の三国町南本町二丁目辺り)
- 大正13年(1924年) 『みくに新聞』に改題※3
- 第1回坂井郡全児童陸上競技大会を主催
- 昭和12年(1937年) 株式会社から再び個人経営に
- 昭和17年(1942年)ころ 新聞統制により、福井新聞に合併

※1 『福井県史 資料編17統計』より ※2 室生犀星著書『私の履歴書』より ※3 『福井県所在別郷土誌料綜合目録第3集』より

文豪・室生犀星も執筆

詩集『抒情小曲集』や小説『杏つ子』などで知られる、石川県生まれの文豪・室生犀星も一時期執筆していたという『みくに新聞』。犀星は、著書『私の履歴書』の中で「文藝欄に、小説のまねごとを隔日に書き、詩藻欄には詩とか俳句を書き、一頁の上位には文藝評論を真向から書き立て…」と記しています。

論文や詩、小説などで紙面を埋めたことで社長と衝突し、新聞社を退職。在籍した期間はずか1週間とも3カ月とも言われています。

犀星が携わったとされる明治42年のものは、残念ながらまだ見つかっていません。



写真提供 室生犀星記念館 ▲室生犀星(1889～1962年)

広報で呼びかけ
春江町の旧家で数点が発見

これまで『みくに新聞』は

”幻の新聞”は
ほかにも多数が存在



►蔵を整理した際に見つかった同新聞を大切に保管していた坪田さん(写真左・4月13日寄贈)

『福井県史 資料編17統計』や『福井県所在別郷土誌料綜合目録第3集』によれば、明治期から昭和初期にかけて旧坂井郡内で『みくに新聞』を含め、『春江新聞』(昭和4年

三国図書館で
複写物を公開中

このころの地元紙に関する明確な資料は残っておらず、内容などについてもほとんど分かっていません。しかし、もし発見されれば『みくに新聞』と同様に貴重な郷土資料となります。

寄贈された分を含め、みくに龍翔館で所蔵している全ての『みくに新聞』複写物を、三国図書館の郷土資料室で公開しています。そのほか、『みなと新聞』『三国通信』など、戦後に発刊された郷土新聞も閲覧できます。

閲覧を希望する人は、三国図書館職員まで申し出てください。

問 三国図書館 ☎81-2900

昔の地元紙は 郷土史研究の貴重な“宝”

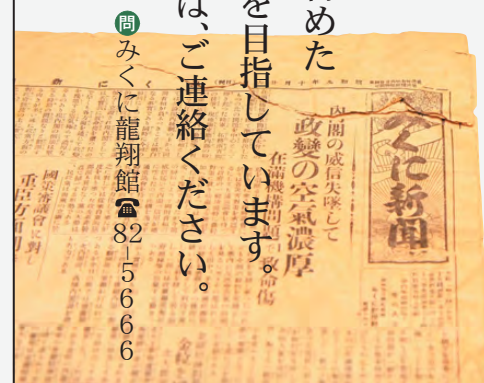


市文化財保護審議会
のとしゆき
平野俊幸委員

『みくに新聞』のような地元紙には、小さなまちの出来事が一つ一つ詳しく掲載され、当時住んでいた人の息づかいまでも聞こえてくるようです。それは郷土資料としてこの上ない大きな価値をもちます。

自宅にある古い蔵や倉庫、ずっと閉めっぱなしで久しく開けていないたんすの中などを、一度探してみてください。穴が開いていたり、破れたりしていても構いません。それは、郷土の歴史をさらにひもとく宝物となり得るのです。

市では、複写を含めた
新聞の完全収集を目指しています。
見つけたときには、ご連絡ください。



問 みくに龍翔館 ☎82-5666

後 世まで歌い継がれる旋律 命日に合わせコンサート 5月15日(土)

市内の女性合唱団「まるおかローレル」が今川節の命日(5月12日)に合わせ、私立緑幼稚園で「今川節を偲ぶトーク&コンサート」を開催しました。節の作った楽曲を、女性の澄んだ歌声やチューバなど多彩な楽器の音色で紡ぎ、訪れた70人の聴衆に披露。聴衆は節の遺した旋律にじっくりと耳を傾け、郷土の偉大な作曲家の功績をしのんでいました。



▲歌声のほか、チューバやハンドベル、大正琴などの多彩な音色が重なりあったコンサート

駅 舎を生かしたまちづくり 交流の拠点に“変身” 5月22日(土)

今年1月から改修工事を行っていたJR丸岡駅の駅舎が完成し、市民に披露されました。坂井地域自治区と東十郷まちづくり協議会からの要望で、市が改修したもの。さかい夏祭り「かがしコンテスト」の入賞作品を待合室に展示しているほか、駅舎内に交流ホールやトイレも設置。今後、まちづくりや観光PRの拠点としての利用が期待されます。



▲完成を祝って、交流ホールで開かれた「駅舎でコンサート」



▲テーマ発表会見で「涙」をPRする市長と、丸岡町文化振興事業団の
みずさきあきひろ
水崎亮博理事長

テ ーマは「涙」 忘却の思いを呼び覚まして 5月13日(木)

第8回新一筆啓上賞のテーマが「涙」と発表され、募集を開始しました。市役所で行ったテーマ発表会見で、市長は「前回テーマの“笑”を引き継いだ。人生や人の成長の過程に笑いと涙はつきもの。今回のテーマは一筆啓上賞の本質に迫るテーマといえる。たくさんの“手紙”を期待したい」と話しました。募集は、今年の10月15日(金)まで。

▼熱心に聞き入る
受講生



▲“美肌”に必要な栄養素などを説明する中島さん

体 と心を美しく！ 野菜や果物の効能を知って 5月21日(金)

「ベジフルきれい塾」健康講座が鳴鹿公民館で開かれました。初回のテーマは“美肌”。講師で野菜ソムリエの中島早苗さんは「野菜や果物には体内機能や肌を健康に保つ働きがある。ぜひ効果的に食生活に取り入れて」と説明。受講者は、野菜や果物の作用について理解を深めていました。同講座では今後、老化防止などについても学ぶ予定です。

お いしいお米を作るぞ！ 小学生が田植えに汗 5月8日(土)

子供たちに稲作の苦労や収穫の喜びを伝えようと、春江中部まちづくり協議会が「米作り体験」を企画。小学生約40人が地区内の水田で田植えを行いました。子供たちは、木杵を転がして目印をつけた後、膝のあたりまで泥に漬かりながらコシヒカリの苗を植えていきました。9月にはカマを使って稲刈り、11月には収穫祭を行います。



▲束にする本数に気を付けながら、丁寧に苗を植える子供たち

地 域の防災力強化を支援する 9事業所に表示証 5月11日(火)

嶺北消防組合は消防団活動に積極的に協力する市内9事業所を「消防団協力事業所」に認定し、春江中公民館で表示証を交付しました。表示証は事業所の社会的貢献を認めるもので、今回は消防団員3人以上を従業員にもつ事業所を対象に交付。今後も地域防災体制の強化に協力する企業や事業所に対し同様の交付を行っていきます。



▲小林幸典消防長から事業所に表示証を交付



▲ボールを保持して駆け上がる平章SSSの選手

気 迫のプレーが次々と 古城カップを開催 4月10日(土) ～5月5日(水)

第22回坂井市古城カップサッカー大会が、まるおかスポーツランドなどで開催されました。市内外から96チーム1800人が参加。大会中は天気にも恵まれ、選手たちは、互いのゴール目指して息をのむ熱戦を数多く展開。激しいボールの奪い合いや手に汗握るゴール前での攻防など、見ごたえ溢れるプレーの連続で、観客を大いに沸かせていました。



▲市内26の消防団による一斉放水

大 災害に備え初動体制を確認 早朝訓練に700人 5月9日(日)

大規模地震による災害を想定した火災防御訓練が県九頭竜川浄化センター芝生広場で行われました。消防署員や消防団員、地域住民など約700人が参加し、災害発生時の初動体制を確認。また、バケツリレーや消火器訓練といった市民参加型の訓練では、有事の際の被害を最小限に食い止めるため、互いが力を合わせて真剣に取り組んでいました。

越前白茎ゴボウを知って！ 伝統野菜 PR 市に登場 5月28日(金)

『伝統の福井野菜を食べよう』と銘打った市が、県水産会館（福井市）前で開かれました。春江町特産の「越前白茎ゴボウ」が出品され、大勢の買い物客でにぎわいました。栽培を行う春江町農村女性活性化委員（代表：三上香代子さん）による対面販売では、委員に食べ方などをたずねたり「歯ごたえがよさそう」と話したりする買い物客も見られました。



▲「根を食べるゴボウと違って、これは主に茎や葉を食べるんです」と、生産者と消費者が直接対話

あらたな感動を共有 「笑」に包まれた顕賞式 5月29日(土)

第7回新一筆啓上賞の「顕賞式」が丸岡体育館で行われました。大賞の山崎終さん（高小4年）ら各受賞者に賞状が贈られました。恐竜への手紙を書いて大賞に選ばれた大久保緒人さん（平章小4年）には、今回特別に設けられた福井県立恐竜博物館賞も贈呈。来場者は、受賞作品が紹介されるたび、笑いに込められた情景に笑みを浮かべていました。



▲緊張した面持ちで受賞に臨む山崎さん



▲秀作に選ばれ、アメリカから出席した中村華蓮ちゃんは、最年少の5歳。自宅に置いたどんぐりを見つけて喜んだリスの様子を手紙に書き、三重県に住む「ばーば」にあてた。顕賞式には「ばーば」（祖母の七澤敏子さん）も同席



▲11月の公演は2日間。「練習を頑張って、舞台を成功させたい」と抱負を語る役者たち

10周年を飾る役者たち 成功に向け、早くも意欲満々 5月22(土)

まるおか子供歌舞伎が11月の公演に向けて活動を開始。「豆役者」と、指導する水口一夫さんとの初顔合わせが城のまち会館で行われました。10周年記念となる今回の演目は「忠臣蔵」。舞台を“卒業”した中学生も参加し“男のドラマ”を展開するだけに「どんな役でも頑張る」という女子児童もいるなど、早くも舞台への熱意をのぞかせていました。

▼「きみの手紙を読んで、トリケラトプスもきっと笑ってる」。記念の賞状と、副賞にはトリケラトプスのフィギュアと1年間有効の入場パスを受け取った大久保さん



勇 壮な人形山車に 15万人が湧く 5月19日(水) ～21日(金)

北陸三大祭りの一つといわれる三国祭が行われました。中日の20日には、地区ごとに工夫を凝らして製作された武者人形山車6基が巡行。湊町の風情漂う町家や細い路地を豪快に練り歩く様子に、町中が活気付きしました。今年の祭りには“援軍”も登場。朝倉氏遺跡保存会や県内の坂本龍馬ファンでつくる越前龍馬会の皆さんがひき手として加わり、大いに盛り上げました。三國湊の風情と心意気を示した祭りは、夜遅くまで熱気に包まれていました。

①大勢が詰め掛けた中、三國神社前に整列した人形山車②1番山車「坂本龍馬」③2番山車「朝倉義景」④3番山車「浅井長政」⑤4番山車「勘次郎・弁慶」⑥5番山車「徳川家康」⑦6番山車「加藤清正」⑧威勢のいい掛け声とともに、激しくみこしを操る担ぎ手の勇⑨朝倉氏遺跡保存会の皆さんも参加⑩格子戸をかすめる人形山車⑪越前龍馬会の皆さんもひき手として参加⑫浅井・朝倉連合が“復活”～戦国時代に同盟関係結び織田信長と戦ったとされる武将浅井長政と朝倉義景が、ときを超えて三國の地で“再会”を果たした一



市民の皆さんの生活に直結する制度や
イベントを紹介するコーナーです。

Pickup

直通電話番号を追加しました
5月1日～市役所の組織見直しに伴い、
直通の電話番号を追加しました。

■生涯学習スポーツ課

(生涯学習係) ☎50-3162

(スポーツ係) ☎50-3163

■三国総合支所地域振興課

(地域係) ☎82-8900

(振興係) ☎82-8904

問 監理課 ☎50-3021

Topics

トピックス

まちの話題をお届けします。

高棕の“4,500年”を1冊に

高棕のまちづくり協議会は、地区の歴史や文化をまとめた読本『たかむく玉手箱』を発刊しました。地区内で発見された縄文中期の「舟寄遺跡」をはじめ、郷土の偉人や伝説、民俗や生活の変遷などについて、数多くの写真などとともに分かりやすく編集されています。編集にあたった同協議会歴史文化部会の松本盛博さんは「先人の歩みを知ること、新しいまちづくりの参考になれば」と話しています。詳細は高棕公民館 (☎68-0843) まで。



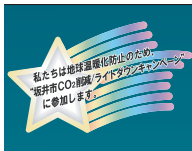
▲冊子はA4版オールカラー190ページに編さん

“竹田の集大成”が完成

竹田小中学校休校協議会は『竹田の学校記念誌』を刊行しました。竹田小学校と丸岡中学校竹田分校の休校に伴い、昨年7月から準備が進められていたもの。学校の変遷や在校生・卒業生の学校への思いなどが写真とともにつづられています。休校式の様子を収めたDVDも添付。同協議記念誌編集委員会の辻端美恵子さんは「あらためて学校の存在が住民にとっていかに大きかったかが分かる」と話しています。



▲古くからの息づかいが聞こえるような大作に

6月は環境月間です
ライトダウンキャンペーンにご協力を

● 問い合わせ 環境推進課 ☎50-3032

- ◆家庭や職場では、防犯や安全上支障のない範囲で、不要な照明を消しましょう
- ◆ライトアップ施設や看板などは、次の消灯にご協力ください
- ▼20～22時に消灯しましょう

市民統一消灯日	6月28日(月)…福井震災追想日
全国一斉消灯日	6月21日(月)…夏至の日 7月 7日(水)…クールアース・デー

ライトダウンイベント ～親子で創ろう とっておきの夜～ に
ご参加ください！

市民統一消灯日に先立ってイベントを行います。このイベントに参加できる市内在住の親子50組(先着)を募集します。素敵なプレゼントも用意しています。申し込みは、環境推進課へ。

と き 6月27日(日)18:00～20:00

ところ 市役所前駐車場(坂井町下新庄1-1)

内 容 環境クイズ、電気自動車乗車体験、キャンドルナイト、線香花火大会など

地

地球温暖化防止のため、6月28日を「市民統一消灯日」としています。日ごろ、いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化防止に向けた取り組みを始めるきっかけにしましょう。

第2回 テーマは「生物」
環境講座にお越しく下さい

● 問い合わせ 環境推進課 ☎50-3032

市

民一人一人の環境問題への興味を高めてもらおう

ため、気軽に参加できる環境講座を開催しています。

本年度2回目の講座のテーマは、「生物」です。新規参加者も随時受け付けています。市民の皆さんの参加をお待ちしています。

と き

6月26日(土)

13時30分～15時

ところ

市多目的研修集会施設

2階円卓会議室

演 題

「福井県に来て2年、新人が見つけた生物たち(コ

ウモリ・カエル等)」

講 師

百崎孝男氏

※越前松島水族館勤務担当はマンボウ、カエル、カメ

対 象

市内に在住または勤務・通学している人

申込方法

電子申請、または、申請用紙に必要事項を記入し、環境推進課あてに郵送・メール・FAX・持参してください。申請用紙は、市ホームページからダウンロードできます。

http://www.city.fukui-sakai.jp

さらに小さいゴミ袋を作成

● 問い合わせ 環境推進課 ☎50-3032

人数の世帯が増え、さらに小さいサイズのゴミ袋が欲しいという意見が、近年増えてきました。そこで市では、従来よりも小さめのゴミ袋を設けます。7月から販売を開始します。市指定ゴミ袋の取り扱い店で購入してください。

■坂井市のごみ袋■			
「もやせるごみ」の袋			
	大サイズ (45 ℓ)	300円(10枚)	
	小サイズ (25 ℓ)	200円(10枚)	
新	特小サイズ(15 ℓ)	100円(10枚)	
「もやせないごみ」「空き缶」 「プラスチック容器包装」の袋			
	大サイズ (45 ℓ)	300円(10枚)	
新	小サイズ (25 ℓ)	200円(10枚)	

障がい者の就労を応援します！
「障がい者雇用ネットワークセンター」を開設

● 問い合わせ 社会福祉課 ☎50-3160

障がい者の就労支援業務
職場実習先開拓員が市内外の企業などを訪問し、職場実習先を開拓したり、障がい者施設で製作した商品や作業受託に関する営業活動を行ったりします。

☎97-8375

三国町中央1丁目63(市社会福祉センター内)

障

がいのある人の社会的かつ経済的な自立をサポートするための施設です。

◆フリースペースの設置

障がいのある人が自由に過ごせる空間です。本を読んだり、ゲームや会話を楽しんだり、思い思いに過ごせます。専門支援員を1人配置。定員は10人です。

【開設日時】月、火、木、金、日

(年末年始、祝祭日を除く)の9時30分～16時30分

◆障がいに関する相談窓口

専門の相談支援員が、障がいのある人やその家族からの相談に応じます。

【相談日時】毎週木曜日(年末年始、祝祭日を除く)の10時～16時

教育委員長に喜多氏

● 問い合わせ 教育総務課 ☎50-3160



▲川元利夫教育長



▲喜多正之教育委員長

臨

時教育委員会が5月11日(火)に市役所で開かれました。

教育委員長の任期満了(任期1年)に伴い委員長の選出が行われ、喜多正之氏(丸岡町山久保)が委員長に就任しました。5月臨時議会において再任の承認を受けた小島義昭氏と川元利夫氏は、5月11日付けで2期目の委員に就任しました。委員長職務代理者には竹田裕喜子氏(丸岡町山竹田)を、教育長には川元利夫氏を選任しました。

臨時議会
議長に山田栄氏

● 問い合わせ 議会事務局 ☎50-3001



▲辻人志 副議長



▲山田栄 議長

臨

時会が5月10日(月)に開かれました。新議員26人が出席。

議長に山田栄氏、副議長に辻人志氏を選出したほか、各委員会を編成しました。

各常任委員会と議会運営

委員会の委員長・副委員長

は次のとおりです。(敬称略)

◎委員長 ○副委員長

【総務常任委員会】

◎高間正信 ○上出純宏

【教育民生常任委員会】

◎橋本充雄 ○田中千賀子

【産業経済常任委員会】

◎前田嘉彦 ○岡田十八

【建設常任委員会】

◎木村強 ○古屋信二

【議会運営委員会】

◎伊藤聖一 ○川畑孝治

また、教育委員に小島義昭氏(坂井町下関)と川元利夫氏(三国町川崎)を任命すること、監査委員に東野栄治氏を選任することに同意しました。このほか、21年度一般会計補正予算などの専決処分3件について承認されました。

お知らせ

information

有害鳥獣の捕獲を行います

猟銃を使った有害鳥獣の捕獲を行います。当日午前7時までは、農作業や散歩など外出を控え、事故防止にご協力をお願いします。

地区	日 時	
三国	6月19日(土)加 戸	5:00 ～ 7:00
	6月26日(土)浜四郷	
	7月 3日(土)浜四郷	
	7月 4日(日)加 戸	
	7月10日(土)加 戸	
春江	6月15日(火)	
	6月17日(木)	

問 (三国)三国総合支所地域振興課
☎82-8904
(春江)(坂井)農林水産課
☎50-3150

ふるさとづくり運動で表彰を受けられました

(社)あすの福井県を創る協会では、ふるさとづくり運動に功績のあった個人・団体を表彰し、さらなる活動の推進を図っています。本市からは、次の皆さんが受賞しました。(敬称略)

●あすの福井県を創る運動功労者知事表彰

個人／佐藤茂
団体／三国ジュニアリーダーズクラブ

●あすの福井県を創る運動優良実践者・団体会長表彰

個人／山本榮
団体／坂井町東区

問 坂井市民運動推進協議会事務局(生涯学習スポーツ課内)
☎50-3162

ハザードマップをご活用ください

『坂井市洪水・土砂ハザードマップ』は、市民の皆さんの避難時に役立ててもらおうと、作成したものです。九頭竜川や竹田川、兵庫川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水予測結果に基づいて、浸水の範囲とその深さ、避難施設などを示しています。

梅雨を控えたこの時期、いざという場合に備えるためにも、それぞれにご確認ください。

ハザードマップは、一昨年に全戸配布しています。市ホームページでもご覧いただけます。

問 建設課 ☎50-3051

急な増水に注意 龍ヶ鼻ダムからのお知らせ

梅雨のシーズンになりました。大雨が降ったとき、ダムからの放流量を増やすことがあります。ご注意ください。

1. 警報のサイレンや放流を知らせる放送は、ダムから水を出す合図です。サイレンが鳴ると水かさが増えますので、すぐに川から離れましょう。
2. ダムから水を出さなくても、局地的な大雨で川の水かさが増えるときがありますので、注意しましょう。
3. 川の中に入るときは天候に注意し、大雨のときは川に近づかないようにしましょう。

問 龍ヶ鼻・永平寺ダム統合管理事務所 ☎67-2841

子どもの人権110番 6/28(月)から強化週間

いじめ、体罰、虐待、心配ごとなど、一人で悩まずに相談してください。

子どもの人権110番強化週間
6月28日(月)～7月4日(日)
☎0120-007-110
全国共通・無料

相談受付 ・6月28日(月)～7月2日(金)
8:30～19:00
・7月3日(土)～4日(日)
10:00～17:00
問 福井地方法務局人権擁護課
☎22-4210

6月18日(金) 貸金業法が変わります

借り過ぎ・貸し過ぎを防ぐために改正された貸金業法が施行されます。

- 借入れ総額が「年収の3分の1」を超える場合、新規の借入ができなくなります
- 借入れの際、基本的に年収を証明する書類が必要となります。年収を証明する書類がないと、借りられない場合があります

法律の詳しい内容については金融庁ホームページをご覧ください。また、借金で悩んでいる人は、市消費者センターへお早めにご相談ください。

問 金融庁金融サービス利用者相談室
☎0570-016-811
☎http://www.fsa.go.jp/
市消費者センター(市民生活課内)
☎50-3030

三国花火大会 協賛を募集

三国花火大会実行委員会では、大会の趣旨にご賛同いただける企業・商店を募集しています。30回記念となる大会を盛り上げませんか。

協賛方法 協賛金
使 途 ご協力いただいた協賛金は、大会運営費として活用します。

金 額 10,000円／口
申込方法 専用の申込用紙・納付書で申し込んでください。下記ホームページからダウンロードできます。

申込締切 6月30日(水)
協賛していただいた皆さんの名前は、大会ちらし、大会前日の新聞紙上、大会当日の会場アナウンスで発表。また、特別招待席のチケットを郵送します。

問 三国花火大会実行委員会(観光課内) ☎50-3152
「市観光ガイド」
☎http://kanko-sakai.com/

リサイクル

recycle information

ゆずります	学習机、おんぶっこバギー、剣道の籠手と竹刀(中学用)、幼児用トイレトレーニング(洋式便座)、アナログテレビ(横巾90cm)、スティックタイプの掃除機、折りたたみ自転車、ディズニー名作ビデオ、乳幼児用チャイルドシート、除湿器
ゆずってください	レコード(レコード盤なら何でも可)、電気蓄音機(蓄音機とラジオが兼用になっているもの)、ぜんまい式蓄音機、着物の古着(木綿、絹、麻、かすり、野良着可)、デスクトップパソコン、草刈機、大福帳(和紙)、本棚、チャイルドシート、高齢者用手押し車(小)、ジュニアシート、ミシン、ミニ耕運機、ロックミシン、ノートパソコン、大人用自転車、折りたたみ車椅子、DVDプレーヤー、ひな人形、ひな人形の下に敷く赤い毛せん、戦前の木綿ふとん地やふろしき(ボロ可)、古い着物(綿、絹、麻、小布可)、ベビーカー、対面式ベビーカー、CD、アナログテレビデオ、スチール製ロッカー、子供用自転車、柔道着、ベッド、冷蔵庫

申込方法 電話で下記まで
※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は3カ月(自動継続はしません)
※品物の細かい指定はできません
※掲載品は掲載者が保管
問 市民生活課 ☎50-3030

イベント情報

◇「組踊」特別鑑賞会

「組踊」は、国の重要無形文化財に指定されている沖縄の伝統芸能です。

ハートピア春江開館15周年記念事業として開催します。入場は無料、全席自由(入場整理券が必要)です。皆さんのお越しをお待ちしています。

と き 7月3日(土)14:00～
ところ ハートピア春江
大ホール
演 目 第一部／琉球舞踊
第二部／組踊「父子忠臣の巻」



▲▶日本を代表する歌舞劇の一つ、「組踊」
※この写真は、当日の演目とは異なります

問 ハートピア春江 ☎51-8800

食卓に もう一品！ 食生活改善推進員の かんたん料理レシピ

野菜とはんぺんの ホイル焼き



春江地区食生活改善推進員

栄養成分／1人分

エネルギー 94kcal
タンパク質 7.0g
脂質 3.0g
塩分 0.9g

材料／4人分

白はんぺん 2枚
タマネギ 1/4個
ニンジン 1/6本
ピーマン 1個
コーン(缶詰) 大さじ2
バター 大さじ1/2
ピザ用チーズ 大さじ4
コショウ 少々

- 作り方 ① タマネギ、ニンジン、ピーマンは細く切る。
② はんぺんは、1枚を6等分に切り、3切れずつアルミホイルにのせる。
③ ②の上に、野菜類・ちぎったバター・ピザ用チーズをのせ、コショウをふって包む。
④ オーブントースターまたはフライパンで5分ほど焼く。

元気が続く朝ごはん

朝ごはんは、一日を元気に過ごすための大切な食事です。寝ている間に使った栄養分(特にブドウ糖)を、朝ごはんで脳や体にしっかり補給することで、勉強や仕事への集中力がぐっと高まります。手軽に作れてバランスよく栄養がとれる、具だくさんの汁物などもお勧めです♪

問 健康長寿課 ☎50-3040

開催

event information

地産地食を楽しもう
「三國ハーベスト大食堂」

食と文化のコラボイベントです。津村節子さんを迎えてのトークショー、三国の食材をふんだんに使った地元料理人集団による料理を味わうランチ会、話題のカニ殻を使って栽培された農産物などの販売があります。

と き 7月4日(日)
11:00～13:30

ところ みくに文化未来館

内 容 ・第一部
芥川賞作家 津村節子さんが語る「ふるさと福井・三國の食」
・第二部
地産食材たっぷりのランチ会(三段重ね特製弁当)
・地産市、カニ殻栽培農産物などを特売

チケット 2,500円(特製弁当付き)

定 員 250人

チケットの申し込みは下記へ。

問 みくに文化未来館 ☎82-7200
ファーマーズマーケットきららの丘 ☎78-6020

よい食生活をするための
健康クッキング教室

と き 7月9日(金)

9:30～13:00

ところ 霞の郷・丸岡保健センター

持ち物 エプロン、三角巾、タオル

講 師 市栄養士

参加費 200円

申込方法 7月1日(木)までに下記へ電話で申し込んでください。

問 健康長寿課 ☎50-3040

楽しい実験がいっぱい
「かがくであそぼう」

不思議でおもしろい実験です。参加は無料、申し込みが必要。

と き 6月19日(土)
10:00～12:00

ところ 春江図書館2階

講 師 吉澤康暢氏

定 員 40人(小学生以下は保護者同伴)

問 春江図書館 ☎51-8810

毎年恒例！
古雑誌を販売します

すべて20円で販売します。

と き 7月10日(土)
10:00～15:00

ところ ハートピア春江展示交流ホール

問 春江図書館 ☎51-8810

普通救命講習会を
開催します

消防署では、AED(自動体外式除細動器)の使用方法を含めた心肺蘇生法と止血法が学べる普通救命講習会を定期的に行っています。

受講料は無料。講習終了後には修了証が交付されます。

と き 6月27日(日)
9:00～12:00

ところ 嶺北金津消防署

対 象 本市やあわら市に在住、通勤または通学する中学生以上の人

定 員 約30人

申込方法 電話、FAX、インターネット可。申請書はホームページから

問 嶺北金津消防署

☎73-0119 ☎73-5195

✉kanazu@reihoku-fd.jp

🌐http://www.reihoku-fd.jp/

ブルーベリーを
作ってみませんか

ブルーベリーを楽しく「育てる・見る・食べる」講座です。

と き 6月18日(金)
13:30～15:30

ところ 県総合グリーンセンター

講 師 日本ブルーベリー協会
副会長 玉田孝人 氏

問 ふくい農林水産支援センター
☎21-0010(内線511～513)

募集

invite information

市営住宅入居者を
募集します

所在地	団地名	部 屋	家 賃
三 国	立 田	2号棟/3階 (2DK)	17,500円～
		2号棟/4階 (2LDK)	20,100円～
		3号棟/1階 (2DK) 車いす対応室	17,400円～
	新緑ヶ丘	2号棟/3階 (3DK) 浴槽なし	19,100円～
	三 国 東	1号棟/2階 (3DK)	22,000円～
		1号棟/5階 (3DK)	21,300円～
水居	4号棟/1階 (2DK)	18,000円～	
丸 岡	愛 宕	2号棟/2階 (3DK)	14,800円～
		4号棟/2階 (3DK)	17,800円～
		4号棟/3階 (3DK)	17,800円～
坂 井	朝 日	1号棟/2階 (3DK)	19,000円～
	朝日（特公賃）	2号棟/1階 (3DK)	50,000円～
		2号棟/2階 (3DK)	
		2号棟/3階 (3DK)	

※車いす対応室は、下記申込資格に加え別要件が必要

※単身入居希望の人は、3DKの部屋には入居不可

申込資格 ・住宅に困窮している
・収入基準に該当
・税の滞納がない
・市在住の連帯保証人が必要 など

家 賃 入居団地、世帯の収入に応じて決定

申込方法 申込書ほか必要書類を下記まで直接提出
※申込多数の場合は抽選

申込締切 6月25日(金)

抽選日 6月29日(火)9:00～

問 建築住宅課 ☎50-3052

2010 さかい夏祭り
かがしを募集

8月7日(土)の「さかい夏祭り」で実施する“かがしコンテスト”に出展しませんか。

要領、申込用紙は各総合支所地域振興課にあります。ふるってご参加ください。

テーマ	『過去・現在・未来』～さかいていいな～
部 門	台座・一本足・子ども

申込期間 6月21日(月)まで

※製作にあたり材料費(台座部門50,000円、一本足・子ども部門15,000円)を支給

問 さかい夏祭り実行委員会事務局
☎50-3060

現代アートビエンナーレ
作品を募集

作品内容	現代アート
制作現地と展示場所	ONOメモリアル(屋内外)および三國神社境内
応募点数	一人またはグループで1点
応募資格	北陸三県に在学する高校生

費 用 ・出品料は無料

・作品の搬入・搬出や作品制作に要する経費は原則として制作者の負担

入 賞 グランプリ1点、金賞1点、銀賞1点など

応募期間 7月5日(月)～31日(土)

応募方法 応募書類を添えて、下記へ持参か郵送

作品の規格など、詳しくはホームページをご覧ください。

問 みくに龍翔館 ☎82-5666

〒913-0048 三國町緑ヶ丘4-2-1

🌐http://www.ryusyokan.jp

スポーツの短期教室
受講者を募集

①大人の野球教室

と き 6月18・25日、7月2・9日(毎週金曜日)

19:30～20:30

ところ 丸岡運動公園グラウンド・室内球技練習場

対 象 野球未経験者や初心者成人(性別不問)

費 用 4,000円(全4回)

定 員 先着20人

②小学生テニス教室(初心者)

と き 7月22・29日、8月5・12・19・26日(毎週木曜日)

18:30～20:30

ところ 情報団地テニスコート

対 象 小学3年生以上

費 用 6,000円(全6回)

定 員 先着20人

③初めてのゴルフ教室

と き 7月4・11・18・25日、8月1日(毎週日曜日)

19:30～20:30

ところ Y&Yゴルフセンター

対 象 初心者成人(性別不問)

費 用 5,000円(全5回)

定 員 先着20人

④ストリートダンス教室(初級)

と き 9月8・15・22・29日、10月6・13・20・27日、11月10・17日(毎週水曜日)

19:30～20:30

ところ 丸岡体育館

対 象 中学生以上(ダンスに興味のある人)

費 用 6,000円(全10回)

定 員 先着15人

①～④とも申し込みは下記へ。

問 丸岡体育館 ☎66-8920

手仕事の証。
中嶋工務店
〒913-0025
坂井市三國町川崎23-10-1
TEL 82-6507 (代) FAX82-6804

病院ボランティアを募集しています
・来院された患者さまのご案内
・患者さまの移動のお手伝い
・入院中の患者さまのお話し相手
・その他、特技を活かしたイベントなど
・特別な資格は必要ありません。
・活動時間や回数は、無理のない範囲で相談させていただきます。
春江病院
ボランティア窓口 担当 近藤、村田、徳島
電話番号 0776-51-0029(代表)
e-mail renkei@harue-hp.org

こちらは有料広告欄です

今月の
ハッピー
バースデー

おくやみ

4月21日から5月20日までの届け分(敬称略)



たべることもうたうことが大好き。
みんなに愛されて大きくなりました。
みんなありがとう。
田中 伶旺ちゃん
(2歳・春江町江留上新町)
父:洋平さん 母:結美さん



早く歩けるようになって。
お姉ちゃんと一緒に散歩
したいなあ。
長谷部 男生ちゃん
(1歳・春江町江留上大和)
父:貴裕さん 母:絵美さん



おにいちやんが大好きです。
一緒に散歩しようね。
久保田 渚央ちゃん
(1歳・丸岡町田屋)
父:淳史さん 母:陽子さん



1日で1歳になったよ！
毎日とっても楽しいよ！
村上 颯暖ちゃん
(1歳・三国町米納津)
父:剛さん 母:百恵さん

「みんなの掲示板」
「今月のハッピーバースデー」掲載希望者を募集
締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希
望者多数の場合は、掲載できない場合があります。
詳しくは秘書広報課まで。
問 秘書広報課 ☎50-3012

市の
すがた

5月1日現在
※()内は前月比、前年比

人口 **94,670**人(－ 29、－315人)
男 45,914人(－ 22、－197人)
女 48,756人(－ 7、－118人)
世帯数 29,516戸(+ 37、+126戸)

【今月の表紙】山人がはくむ 希少なゼンマイ



雪が残るけもの道を行
くこと数十分。ぬかるん
だ山肌に足を取られなが
らも、一本一本丁寧に手
折る。山菜の中で最高級
ともいわれる極太のゼン
マイ。簡単に踏み入るこ
とのできない場所に生育
するからこそ、その価値
は一層高まるのだろう。
〔みどり干しぜんまい〕
ゼンマイの収穫〕

名 前	年齢	行政区
三国町／ 道地 友枝	90	宿
坊野 孝子	87	黒目
高島 さだ	90	下野
玉森三郎左工門	90	沖野々
吉池 幸恵	62	山岸
長谷川 輝子	81	新宿一丁目
折藤 進	66	梶
加藤 喜八	90	喜宝
荒川 幸子	73	宿
南出 恵美子	80	新保

丸岡町／ 岡崎 清和	69	御幸
辰川 廣子	81	東二ツ屋
伊藤 豊子	87	玄女
辻 よし子	96	舟寄2区
白嶋 みどり	89	東組
北 宗一	81	内田
嶋田 さきを	87	西瓜屋1の3
北風 静江	94	坪ノ内
牧野 照子	85	小黒
中田 幸子	82	北霞4区
森田 都子	92	今町
大嶋 浪子	86	四ツ柳
瀬口 廣芳	76	霞ヶ丘4区
上出 はなみ	87	玄女
岩村 キクエ	94	山竹田
畠中 に 太郎	84	新松川町
北川 博雅	84	八ツ口
戸田 稔	90	中谷
玉川 孝幸	74	板倉
小島 恵美子	67	羽崎
前田 唯	0	新鳴鹿2丁目

名 前	年齢	行政区
春江町／ 鰐淵 進	81	寄安
西川 きくの	90	沖布目
村中 タケノ	81	江留上昭和
久保 義男	74	江留上昭和
藤田 をりを	93	江留下屋敷
青木 リユ子	69	東太郎丸
小林 コマイ	86	西長田
松井 キサヲ	94	寄安金戸
佐々木 こはな	87	田端
木下 義隆	92	千歩寺
西畑 佐太夫	80	江留上本町
川嶋 とし子	75	江留下字和江
藤谷 忠雄	65	正善
山田 幸一	84	江留中
吉田 未子	70	中筋
川島 勇造	82	為国西の宮
酒井 登志子	73	いちい野
黒川 みつこ	94	石塚
北 敏男	85	中筋三ツ屋
河原 スバコ	92	江留上新町

坂井町／ 平田 満	84	清永
水野 津や子	90	下兵庫
廣部 嘉信	86	木部新保
宇野 はすの	95	下兵庫
竹内 みどり	74	新 庄
廣部 幸作	93	新 庄
齋藤 靖子	23	長 屋
吉川 光夫	75	木部新保
矢尾 豊志	83	上新庄
山口 主税	81	五 本
長谷川キミ子	94	徳分田

名前は全て人名漢字及び常用漢字で表記しています。

英語スクール
会員を募集

英語の基礎	毎週水曜日 19:00～21:00
英会話 (外国人講師)	毎週木曜日 19:00～21:00

ところ 春江南公民館ほか
詳細は、下記へお問い合わせ
ください。

問 長田 ☎51-4742

再就職を目指す人へ
パソコンを始めませんか

高齢者向けのコースもあり
ます。

コ ー ス	①ワード基礎 (3カ月:12回)
	②エクセル基礎 (3カ月:12回)
	③エクセル応用 (3カ月:12回)
	④インターネットとメール (3カ月:12回)
	⑤わが家の家計簿 (2カ月:8回)

と き 毎日
朝・昼・夜の3コース
※各コースとも3～5人
ところ ジー・アイ・カルチャー
(坂井町宮領58-20)

受講料 5,000円／月(4回)
問 ジー・アイ・カルチャー
☎68-1101

市民の活動を応援するコーナーです。

運転士気分を味わって！
鉄道模型シミュレーション

BS電波カメラ付きの模型です。
線路はHO・16番ゲージ。架線
走行で、パンタグラフから火花
が散ります。

電池代のほか、一部の車輛
は有料。1時間に1組限定で、
予約が必要です。

と き 6月20日(日)以降随時
ところ よしざわカメラ
(春江町江留上日の出)

問 吉沢 ☎51-1017

ハスの実の家
ふれあい大バザール

バザー物品の提供をお待ち
しています。

と き 6月27日(日)
10:30～13:30
ところ あわら市農業者トレー
ニングセンター

問 ハスの実の家 南 ☎78-6743

世界文化紹介の集い(中東編)
イラン・イスラム共和国

悠久のペルシャ文化を通して、
もっと中東を知りましょう。

と き 6月26日(土)
14:00～16:00
ところ 春江中公民館

講 師 モハマディニア・マスメさん
(ペルシャ繊維販売業)

問 インターナショナルさかい
中村 ☎090-9443-1570
✉tednaka@mx2.fctv.ne.jp

みんなの掲示板
The bulletin board of all

日中友好に向けた
講演会を開催

「今の中国をどう見るか～偏
見なく中国と付き合うために～」
をテーマに開催します。中国の
経済や民族問題、思想などに関
する講演会です。申し込みは、
下記へ。

と き 6月26日(土)
13:30～16:00

ところ 高椋公民館
講 師 京都大学教授
大西広 氏

参加費 500円
問 日中友好協会坂井支部
栗田 ☎070-5410-7598

テニス教室
受講生を募集

老若男女、誰でも楽しめるよ
う、レベルに合わせた指導をし
ます。運動不足解消に、ぜひご
参加ください。

と き 9月25日(土)までの
毎週土曜日(8月14日、
9月4日をのぞく)
19:30～21:30

ところ 磯部公民館前テニス
コート

会 費 ボール代1,000円
受講料 6,500円

問 磯部公民館 ☎66-7430

お仏壇のお洗濯
70代(3尺間用)
7万円～
200代(6尺間用)
15万円～
施行前 ⇄ 施行後 仏壇専用12V配線を含みます
(株)サワザキ佛壇店 ☎66-6560
坂井市丸岡町高柳2-16(国道8号・Y&Yゴルフ隣)

オープン12周年記念
「みくに いい物うまい物まつり」開催!!
6月26日(土)・27日(日)
・三里浜産ハウスイカ・芦原産マルセイユメロン特売
・地元生産者による軽トラック・ギフト用花らつきよ特売
・各種ステージイベント・その他イベントが盛りだくさん!!
ぜひ、道の駅みくに・ふれあいパーク三里浜にお越しください!!
道の駅みくに・ふれあいパーク三里浜
三国の海の幸・山の幸
自慢したい特産物がいっぱい
坂井市三国町山岸67-3-1
TEL. 82-3339 FAX. 82-7773
URL. http://www2.niwave.or.jp/sanri/

こちらは有料広告欄です

6月6日「補聴器の日」
・デジタル耳穴形補聴器【製作要1週間】
軽度から高度までの難聴に幅広く対応!
新発売 99,800円
補聴器プラザ福井 CO.Ltd.【訪問相談も対応】
☎72-3344 坂井市坂井町蔵垣内 32-19-17

いねすの
しょうゆ 本醸造
坂井町産
丸大豆100%
農産物直売所「いねす市」で好評発売中(600円/1㍓入り)
いねす 坂井地域交流センター「いねす」
坂井市坂井町蔵垣内 34-14-1
☎0776-72-7600
指定管理者 株式会社アイビックス
福井市下馬2丁目101

こちらは有料広告欄です



「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！
 今回の内容は、6/15(火)～7/14(水)まで放送します。
 お楽しみに！ ☎秘書広報課 ☎50-3012

以心伝心の絆で 醸成された一体感



カテゴリーごとの練習で、技術と連携に磨きをかけるメンバー

土 煙を起こし、元気
 いっぱいに団員
 たちがグラウン
 ドを駆け回る。春江町内4
 つの学校から多くの子供が
 集まり、一堂に練習する様
 子は、さながら毎週運動会
 が行われているかのよう。
 それが「春江町サッカース
 ポーツ少年団」だ。

同団は、優れた指導者で
 誰もが慕った故・佐々木誠
 さんが34年前に創設。技術
 以上に子供の安全や礼儀を
 重視し、人と人との交流に
 力を入れていたという佐々
 木さん。その思いが伝わり、
 団員の交流は学校や学年の
 枠を超えて盛んだ。中高校
 生のOBもしばしば練習に
 参加し、彼らのプレーや態
 度は在団生のよい手本となっ
 ている。

キャプテンの佐々木亮太
 さん(春江東小6年)は「全
 員の力で勝てるよう、声を
 出してチームをまとめてい
 きたい」と抱負を語る。
 ゴールキーパーを務める
 高木勇仁朗さん(同)は「後
 方からも選手を鼓舞し、ゴー

ルを割られないようにした
 い」と話す。6年生になり、
 負ける悔しさも増したこと
 で練習中も気合が入る。
 メンバー一人一人に創設
 者の遺志が受け継がれ、仲
 の良さとチームプレーを身
 上とする。上級生から下級
 生まで、思いが一つとなっ
 た結束の強いイレブンだ。

春江町サッカースポーツ少年団



メンバー 70人
 代表 坂部 敏弘さん (春江町中筋春日)
 コメント
 「サッカー大好き少年、サッカーを
 やりたい子供は、いつでも春江西小
 学校に遊びに来てください」
 練習日 毎週土・日曜日
<http://www4.fctv.ne.jp/~haruecho/index.html>

編集後記

▼表紙の撮影に同行しまし
 た。そこはまだ寒さの残る
 山頂付近の急斜面。何十キ
 ロものゼンマイを担ぎなが
 らの収穫作業——食材に
 携わる人たちの努力や苦勞
 を垣間見ると、好き嫌いの
 多い自分を、反省、反省……
 ▼子供の想像を妨げないよ
 う、読み聞かせは声色を極端
 に変えない方がいいのだそ
 う▼寝る前の本の読み聞か
 せを楽しんでいたころ。登
 場人物を面白おかしく演じ
 ながらも眠りこけ、子供に
 起こされること多々。彼ら
 の想像力は、今いかに……(純)

純 な旅



人の心も、水と同じで
 酌みとるものだとしたら
 私はキミの心を
 ちゃんと酌めてるんだろうか。
 なれ合いじゃない優しさと
 責め心のない厳しさを
 ちゃんと持ててくんだろうか。
 ゆりの花びらが染めた
 カクテルの薄紅を前に
 ふと……そう感じた、初夏の日。

(春江町江留上錦)

平成22年6月10日

発行 坂井市 編集 秘書広報課

〒919-0592
 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
 TEL 0776-66-1500(代) FAX 0776-66-4837
 URL <http://www.city.fukui-sakai.jp/>
 E-mail kounou@city.fukui-sakai.jp